「ＣＡＴＹ」の名前は、「ＣＡｍｐｕｓ」と「ｃｉＴＹ」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。「地域との共生　社会に学ぶ」を合いことばに、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が取材活動を通じて、読む・書く・話すといった能力を開発していくことも意図しています。

http://www.kokugakuin-jc.ac.jp

News CATY（ニュース　キャティ）

２０１８年７月　第124号

発行／國學院大學
北海道短期大学部
滝川市文京町３－１－１
TEL0125-23-4111　FAX0125-23-5590
編集長／矢口元晴

カヌー体験に悪戦苦闘

息合わせ協力し合う　自然の楽しさも満喫

互いに協力し合いカヌーを体験する学生たち

総合学習を履修している児童教育コース二同は7月1日、カヌー体験をするために滝川市B&G海洋センターを訪れました。当日は小雨が降っていましたが予定通り体験を行いました。

施設の方の注意事項を聞いた後、2組になってカヌーに乗りました。水の上は思っていた以上に不安定で、説明を受けたとおりにカヌーを進めていくことが困難でした。

次にグループに分かれてローボートに乗りました。カヌーとは違い、人数が多いため全員で息をあわせて漕がないとうまくいかないことを身をもって体験することができました。どちらのときも声を掛け合い、協力し合うことが大切であると感じました。小雨の中、少し寒かったりもしましたが、普段できないような、自然との触れ合いができてとても新鮮で楽しく体験することができました。

また、力を合わせながら行動したことによって私たち児童教育コースの仲もより深まったのではないかと思います。それと同時に、自然の美しさや怖さ、楽しさを知ることもできました。

私たちが教師になる上で児童たちに、今回自分自身が感じたことを伝えることができるようにしていきたいと思います。そして、滝川にいる今しかできないことをより多く体験し、自分の経験を児童にたくさん話すことができる教師になりたいと強く感じました。（幼児・児童教育学科 児童教育コース2年／平井加恋）

地質見学で貴重な経験

児童教育コースの1年生　太古の歴史を学ぶ

地質見学に参加した児童教育コースの学生たち

私たち児童教育コース一1年は7月8日、地質見学に行ってきました。貸し切りバスで移動ということで遠足気分になりとてもワクワクしていました。しかし天気予報ではあいにくの雨予報…。どんよりとした気分で当日を迎えたのですが、なんと当日は見事な晴天！天候に恵まれたおかげで川やダムの近くでじっくりと地層を観察することができました。

私たちがこの日見た地層は幌加尾白利加層・増毛層・一の沢層の3種類です。まず、幌加尾白利加層付近では河岸段丘の段丘面を利用し、農業が盛んに行われていることが分かりました。次に、尾白利加ダム周辺の地層は砂岩からなりダムを建設するのに適していることを学びました。最後の一の沢層はおよそ500万年前にできたことや、元々この地域が海に埋まっていたことや、長い時間をかけて浸食・運搬・堆積を繰り返していたことなどを読み取ることができました。

こういった経験をすることで将来教師になった時、児童に語れることが増えると思います。地質見学という貴重な経験ができてよかったです。（幼児・児童教育学科児童教育コース1年／杉山愛衣理）

旭川の「ホタルの里」を訪問して

中学生の保護活動で誕生

私たち児童教育コースは7月15日、旭川にあるホタルの里で学びました。

ホタルには「ヘイケボタル」と「ゲンジボタル」という種類があり、本州出身の私が今まで「ホタル」と呼んでいたのは、「ゲンジボタル」であること、北海道では「ヘイケボタル」が多いということを知りました。

私は、ホタルは陸の上で一生を過ごすものだと思い込んでいました。しかし、実際には卵からかえってから蛹になるまでの間はずっと水中で暮らしている、ということを知りました。

何よりも驚いたことは、ホタルの里は近隣の西神楽中学校生物部による活動からはじまったということです。どんどん減っていくヘイケボタルを自らの手で増やそうという強い意志からホタルの里が生まれ、ずっとホタルを守っていくことが可能な環境が生まれたのです。今では、子供からお年寄りまでがホタルに関して興味を持ち、西神楽、旭川を挙げて関わっています。

私は、このような中学生の自主性や行動力、積極性を大いに見習うべきだと思います。一人でも多くの児童生徒が環境問題に興味を持ち、積極的に活動していくことができるようにするために、教師は児童生徒にたくさんの自然や環境に関わる機会を設けることが大切です。また、自然や環境以外にも児童生徒が興味を持ったことに対して、全力で応援していくことが大切だと考えました。（幼児・児童教育学科児童教育コース2年／河村芽衣）

ホタルの生育を観察する学生たち

介護実習を終えて学んだこと

私たち福祉専攻は7月2日から6日までの5日間、デイサービスとグループホームの2か所で実習をしました。

今回の実習では主にコミュニケーションが目的でしたが、利用者の方とどのようにコミュニケーションをとるきっかけを作れば良いかとても悩みました。しかし、利用者の方が「どこの学生？」と話しかけてくださり会話をはじめるきっかけとなりました。会話を続けていくと、利用者の方が昔の話や家族の話をしてくださり、私は自分の祖父や祖母にも昔の話を聞くことがあまりなかったので利用者の方の話はとても新鮮で勉強になりました。

また、認知症の方とのコミュニケーションでは話した内容をすぐに忘れてしまい、もう一度同じ話を繰り返す方が多いため戸惑ってしまい「そうなんですか」というような返事しかできませんでした。でも、次第に具体的に質問をできるようになり、どのような返事をしたら次の話に繋がるのだろうと考えることができ、実践的にコミュニケーションを学ぶことができた良い実習になりました。

今回の実習は5日間という短い実習でしたが、コミュニケーションが大切であるということを学ぶことができました。次は8月に訪問介護の実習があります。訪問介護の実習ではコミュニケーションをとりながら作業もしていくことになるので、今回の実習で学んだことを生かして頑張りたいと思いました。（専攻科福祉専攻／小野寺柚月）

ピアサポーターの活動について

学生の相談相手です

本学のピアサポーターという制度は、昨年から始まりました。ピアサポーターというのは簡潔に言うと「同じ立場から学生の手助けをする学生」のことです。学生だからこそわかる学生同士の悩み・漠然とした不安をやわらげる場として、このピアルームは開室しました。主な活動としては、ピアルームに来てくれる学生の勉強やサークル、生活面の相談・話し相手を行っています。現在のピアサポーターは2名（国文学科2年杉江咲春＝写真＝、総合教学科2年清水翔太）で活動中です。

今年度前期は、「ピアつうしん」という学内情報誌の定期発行や、テスト前の勉強会ウィークをピアルームでおこないました。7月中旬には全学年対象のピアアンケートを実施。このアンケートでは、ピアの認知度と学生が何について困っているかの調査をし、そこから今後の改善点についてさまざまなことが浮かび上がってきました。特に顕著だったのがピアの認知度です。「ピアがどんな活動をしているかわからない」と答えたのは全体の約45％。まだまだ認知不足のため、これからもより一層奮闘したいと思います！（ピアサポーター国文学科2年／杉江咲春）

國學院大學編入学説明会

1・2年生500人が参加

7月12日、國學院大學3年次への編入学説明会が実施された。会場には編入学を希望する1・2年の学生約500名が集まり、402教室は熱気に包まれていた。國學院大學から教務課長の松本忠和氏が来校し、國學院大學の開設科目や履修方法等について、わかりやすい説明があった。1年生にとっては、希望としている学部・学科のくわしい情報を得るとともに、2年生にとっては今年の11月に編入学の推薦が決定する前の最後の説明会となる。学生たちは自分の進路に係わることなので、真剣な眼差しで話を聞いていた＝写真＝。

また、現在編入している学生たちの傾向が説明され、編入学へ向けての貴重なアドバイスがなされた。翌日は面接を希望する学生に対して個人面談がおこなわれた。

元気な子どもたち集まれ！

昨年度実施し大好評を得た國學院スタディフェスタを、７月28日・29日の２日間、本学を会場に下記のとおり実施いたします。夏休みの学習に最適です。

記

実施日　平成30年７月28日・29日
会　場　國學院大學北海道短期大学部
参加費　無料（一部予約制）

【イベント】

◇28日・29日共通・役立つふろしき講座いろいろな包み方・かさぶくろロケットを飛ばそう！！

◇28日・車椅子に乗ってみよう・日時計を作ろう－太陽を利用して時刻を知る・今年最高の天文ショウ－月と惑星を見よう

◇29日・むかしの遊びをしよう・空の造形－凧の制作・おもしろサイエンス・作文や読書感想文の書き方－ポイント解説

オープンキャンパスのようす

体験授業がおもしろい！オープンキャンパス開催

第3回オープンキャンパスを、7月29日午前10時半から開催します。

テーマは「青色」。

スケジュールは、キャンパスツアー、ランチ無料体験、体験授業、学科紹介、個別入試相談などを予定しています。

特に体験授業では「ジブリアニメを昔話で読み解こう！」（国文学科）「ｅｍｏｊｉの言語学」（総合教養学科）「水遊び」（幼児・児童教育学科 幼児保育コース）「おもしろサイエンス」（幼児・児童教育学科児童教育コース）を開講します。

どれも興味あるテーマです。是非多くの高校生の参加をお待ちしています。

子育てサロン「ありす」

子育て中のお父さん、お母さん、お子さんのための広場です。

お子さんを連れて、気軽に遊びに来て下さい。

対象者　おおむね０～４歳未満の子どもとその家族
参加料　１家庭あたり100円（保険料を含む）
申し込み　開催日の前日15:00まで（先着30人）

開催日　８月23日(木)
テーマ：中庭で遊ぼう